

2025 年度愛知県産地交付金について

園芸農産課

1 産地交付金の概要

産地交付金とは、食料自給率向上を目的に、水田における主食用米以外の作物栽培を推進するための水田活用の直接支払交付金に係る支援策のひとつであり、地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」に基づき、特色ある魅力的な産地づくりに向けた取組を支援します。水田収益力強化ビジョンは県と各地域農業再生協議会がそれぞれ作成しています。

2 水田活用の直接支払交付金の交付申請手続き等について

交付対象者は販売農家又は集落営農であり、交付申請者は生産年の6月30日までに交付申請書を地方農政局又は地域農業再生協議会へ提出します。

3 2025 年度愛知県産地交付金について

「2025 年度愛知県水田収益力強化ビジョン」では以下の12の取組を独自に支援します。

(1) 小麦品種「ゆめあかり」の作付推進

小麦品種の需要と供給のバランスの取れた栽培体系を目指すため、実需からの要望が強い小麦品種「ゆめあかり」の作付に対し支援します。

(2) 麦類の先進技術の取組（カットドレーン）

麦類の収量の高位安定化を目指すため、先進的な排水対策技術であるカットドレーンを用いた排水対策を実施した麦類の作付に対し支援します。

(3) 大豆の先進技術の取組（カットドレーン）

大豆の収量の向上・安定化を目指すため、先進的な排水対策技術であるカットドレーンを用いた排水対策を実施した大豆の作付に対し支援します。

(4) 大豆の生産安定

大豆の収量向上・安定化を目指すため、①土壌改良剤の散布、②排水対策（暗渠）の実施、③殺虫剤の散布（鱗翅目類）の3つの取組のうち1つ以上の取組を行った大豆の作付に対し支援します。

(5) 飼料用米の作付推進

需要に応じた米生産を推進するため、直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の8つの取組のうち1つ以上の取組を行った飼料用米の作付に対し支援します。

(6) 米粉用米の作付推進

小麦代替として注目が集まっている米粉用米の作付を推進します。直播栽培や

土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の8つの取組のうち1つ以上の取組を行った米粉用米の作付に対し支援します。

（7）飼料用米の複数年契約

飼料用米の安定的な供給のための複数年契約（2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

（8）米粉用米複数年契約

米粉用米の安定的な供給のための複数年契約（2023及び2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

（9）稲WCSの作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、稲WCSの作付を推進します。直播栽培や土づくり（堆肥の施用、ケイ酸質資材の施用）等の5つの取組のうち1つ以上の取組を行った稲WCSの作付に対し支援します。

（10）飼料用とうもろこしの作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、需要者との利用協定を締結した飼料用とうもろこし（子実用とうもろこし、青刈りとうもろこし）の作付に対し支援します。

（11）牧草の作付推進

輸入飼料価格の高騰による国産飼料の需要の高まりを受け、需要者との利用協定を締結した牧草（ソルゴー、イタリアンライグラス、エンバク）の作付に対し支援します。

（12）新市場開拓用米複数年契約

新市場開拓用米の安定的な供給のための複数年契約（2024年産からの3年間以上の契約）の取組に対し支援します。

注．各メニューは国からの計画認定前の内容ですのでご注意ください。2025年度水田収益力強化ビジョンの詳細については、各地域農業再生協議会へお問い合わせ下さい。